

刑法改正案(衆議院回付)特別委員會議事速記録第一號

委員氏名

委員長

侯爵黒田 長成君

副委員長

村田 保君

委員

子爵酒井 忠亮君

男爵尾崎 三良君

男爵岡内 重俊君

三好 退藏君

名村 泰藏君

小松原英太郎君

波多野敬直君

都筑 馨六君

奥山 政敬君

富井 政章君

一木喜徳郎君

菊池 武夫君

兒玉淳一郎君

明治四十年三月十六日(土曜日)午前十時五十九分開會

○委員長(侯爵黒田長成君) 是ヨリ開會ヲ致シマス、ソレデ衆議院ヨリ刑法改正案ニ付イテ更ニ修正ヲ數箇所加ヘテ本院ノ方ヘ回付シテ參リマシタニ付イテハ我々委員ニ付託サレタノデアリマスガ、之ニ付イテ衆議院ノ修正シタ理由ニ付イテ御聞及ビノ點ヲソレソレ御説明ヲ請ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(松田正久君) 本案ハ先キニ貴族院ニ於テ可決ノ末、衆議院ニ送付ニナリマシタガ、衆議院ニ於キマシテモ鄭重ナル審査ノ末、或ハ貴族院ノ修正ヲ採リ、又新ニ修正ヲ加ヘマシタノデゴザイマス、此衆議院ノ修正ニ付キマシテハ政府ノ意見ハ色、ゴザイマスルガ、其意見ニ付イテハ追ッテ申上ケマスル積リデゴザイマスルガ、先ヅ以テ衆議院ノ修正ニ付キマシテ、委員長ヨリ御宣言ニナリマシタ所ノ衆議院ノ修正ノ場所及理由ノ如キモ政府委員ヨリ説明ヲ致サセルコトニ致シマス

○政府委員(倉富勇二郎君) 衆議院ニ於キマシテ修正ヲ加ヘマシタ初メノ箇條ハ即チ第二條デゴザイマス、然ルニ此第二條ノ修正ニ衆議院ニ於キマシテハ本案ノ九十六條ヲ削除シイタシマシタ其結果トシテ斯ノ如ク條數ニ狂ヒ生ジタノデゴザイマスカラ、其點ニ付イテハ別ニ詳クハ申述ベマセヌ、第三條モ同様ナコトデゴザイマス、第四條モ矢張り同様デゴザイマス、其次ノ修正ハ本案ノ四十三條デアリマス、此四十三條ハ政府提出ノ原案ニハ「犯罪ノ實行ニ著手シ之ヲ遂ケサル者ハ其刑ヲ減輕ス但自己ノ意思ニ因リ」云々ト云フコトニナリ居リマス、本院ニ於キマシテ修正ヲ加ヘラレマシテ「其刑ヲ減輕スルコトヲ得」ト云フコトニナリ居タノデゴザイマス、然ルニ衆議院ニ於キマシテハ更ニ本院ノ修正ニ又修正ヲ加ヘマシテ、結局、政府ノ原案ニ復活シタノデゴザイマス、其理由ハ成ルホド未遂犯ノ場合ニモ犯人其者ニ重キヲ置イテ見タラバ或ハ既遂犯ト同様ニ罰スル理由ハ有ラウケレドモ、免ニ角、犯罪ノ結果ニ著眼スレバ既遂ノ犯罪ト未遂ノ犯罪トハ其害ノ程度モ異ナルカラシテ、是ハ矢張り政府原案通り「其刑ヲ減輕ス」ト云フコトニ致シタ方ガ適當デアラウト云フ理由ヲ以テ本院ハ更ニ政府ノ原案ニ復活スルコト云フコトニナリ居タノデゴザイマス、其次ノ修正ハ五十八條デゴザイマス、此修正ハ別段原案ノ趣意ト異ナル所ハゴザイマス、少シ原案ヨリモ實際ノ便利ヲ計ルト云フコトカラシテ修正ガ出來タノデゴザイマス、其次第ハ原案ノ如ク「懲役ノ執行ヲ終リ又ハ其執行ノ免

除アリタル者ニ付テハ前項ノ規定ヲ適用セス」ト云フコトデゴザイマス、假令ヒ懲役ノ執行中ニ再犯者タルコトヲ發見イタシマシテモ「前條ノ規定ニ從ヒ加重ス可キ刑ヲ定ム」其加重ノ裁判ガ懲役執行中ニ確定セヌケレバ第一項ノ適用ハ無イコトニナリマス、然ルニ實際ヲ考ヘテ見マスルト、懲役ノ執行中ニ再犯者ト云フコトヲ發見シテ、ソレデ刑ヲ加重スベキ手續ヲ致シテ居ル中ニ懲役ノ期限ガ盡キルト云フ場合ガ想像セラレルノデゴザイマスルカラシテ、既ニ懲役ノ執行中ニ再犯者タルコトヲ發見イタシマシタ以上ハ、假令ヒ其加重ノ裁判ガ確定ニ至ラナクテモ跡カラ其刑ノ加重スルコトノ便宜ヲ計ツタ方ガ適當デアラウ、左モナケレバ僅カノコトデ、一ツハ加重サレ、一ツハ加重サレナイト云フヤウナ實際ノ不權衡ヲ來タスデハナイカト云フ、斯ウ云フ議論カラシテ、少シ文字ニ修正ヲ致シテ「懲役ノ執行ヲ終リタル後又ハ其執行ノ免除アリタル後發見セラレタル者ニ付テハ」云々ト云フコトニ致シタノデゴザイマス、其次ノ修正ハ第七十七條第一項ノ中ノ第一號ノ「首魁ハ死刑又ハ無期禁錮ニ處ス」ト原案ニゴザイマスノヲ「死刑又ハ」ノ四字ヲ削ルトニナリマシタ、此死刑ヲ削ルト云フ理由トシテ衆議院デ主張サレマシタ理由ヲ承リマスレバ、免ニ角、此犯罪ハ國事犯デアアル、國事犯デアラニハ之ヲ死刑ニ處スルコト云フハ適當デナイ、又各國立法ノ例ニ照ラシテモ國事犯ニ死刑ヲ科スルコト云フコトハ他ニ例モ無イカラシテ、本案ニ於テ死刑ヲ削ルト云フノガ適當デアルト云フ理由ニ過ギナカッタト思ヒマス、其次ハ先刻申述ベマシタ第九十六條、此一箇條ヲ全部削除スルコト云フコトデアリマス、是ハ即チ「公務員ノ職務ヲ執行スルニ當リ其面前ニ於テ侮辱ヲ加ヘ又ハ其面前ニ非スト雖モ公然其職務ニ對シ侮辱……」ト云フ罪デアリマスガ、衆議院ノ意見ト致シマシテハ、何モ公務員ノ職務ヲ執行スル場合ニ於テ此侮辱罪ヲ規定スル必要ハ無イ、是ハ普通ノ誹謗罪ガアル以上ハ其項ダケデ宜イコト云フ議論カラシテ、此條ハ全然削除スルコト云フコトニナリマシタ、其次ガ第七十七條デゴザイマス、騷擾罪ノ中デゴザイマスガ、是ハ僅ノ文字ノ修正デゴザイマス、原案ニ於テハ「暴行又ハ脅迫ヲ爲ス爲メ多衆聚合シ當該公務員ヨリ解散ノ命令ヲ受クルト雖モ解散セサルコトキハ」云々ト云フコトニナリ居リマスガ、衆議院ニ於キマシテハ「解散ノ命令ヲ受クルコト三回以上ニ及フモ仍ホ解散セサルコトキハ」ト云フコトニ修正ヲ致シタノデゴザイマス、此趣意ハ實際ヲ考ヘテ見ルト云フト懇切ニ解散ヲ命ジタラバ解散セベキ場合デモ、唯僅カ解散ト云フコトヲ一回言ッテソレデ解散シナイコトキニ之ヲ罰スルコト云フコトハ甚ダ不當デアアル、ソレデ再三注意スルヤウニ「解散ノ命令ヲ受クルコト三回以上ニ及フモ仍ホ解散セサルコトキハ」ト云フコトニ修正シタ方ガ穩當デアラウト云フ理由デアッタト思ヒマス、其次ハ百二十一條デゴザイマス、百二十一條ノ末段ノ所ニ「因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ死刑ニ處スルコトヲ得」ト云フノガゴザイマシタ、所ガ此法案中ニ斯ノ如キ規定ハ他ニ無イ、隨分其刑ハ色、ニ定メテアッテ死刑又ハ無期若クハ何年以上ノ懲役ト云フヤウナ例ハ他ニモアルケレドモ、「因テ人ヲ死ニ致シタル」云々ト云フヤウナ例ハ無イカラ、是ハ他ノ例ト一致セシムルノガ適當デアルト云フコトノ考ヘカラシテ末段ヲ削リマシテ、上ノ方ニ「死刑又ハ無期若クハ三年以上ノ懲役」ト云フ

コトニナツタノデス、ソレカラ其次ガ百二十一條デゴザイマス、是ハ「溢水セシメテ前條ニ記載シタル」云々ト云フダケノ規定デハ如何ホド些細ナ害デ公共ノ危險ノ害ノ無イ場合デモ罰スルコトガ有ルデアラウ、現ニ放火罪ノ所デモ百十條、或ハ百十一條ノ「因テ公共ノ危險ヲ生セシメタル者」云々ト云フヤウナ規定ガ有ルカラシテ、溢水ニ付イテモ其趣意ヲ明瞭ニスル爲ニ矢張り「因テ公共ノ危險ヲ生セシメタル者」ト云フコトヲ加ヘル方ガ適當デアラウト云フ理由カラ百二十一條ヲ修正ヲ致シタルデス、其次ハ百二十二條デゴザイマスルガ、是ハ全ク唯今申述ベマシタル百二十一條ニ「公共ノ危險ヲ生セシメタル」ト云フコトヲ加ヘタ結果トシテ、過失ノ場合ニモ矢張り同様ノ文字ヲ加ヘヌケレバ權衡ヲ得ナイト云フコトカラ、本條ニモ「因テ公共ノ危險ヲ生セシメタル」ト云フコトヲ加ヘタノデゴザイマス、其次ハ百二十五條デ、是ハ一項ト二項トデ一項ニ「公證人又ハ此等ノ職ニ在リシ者」ト云フ下ニ「故ナク」ト云フ三字ヲ挿入スルコトデアリマス、此趣意ハ既ニ此條ノ百二十四條ニ於テモ「故ナク」云々ト云フコトニナツテ居ル、シテ見レバ此百二十五條ノ場合デモ相當ノ理由ガアツテ秘密ヲ漏スト云フヤウナコトハ是ハ法律ハ認メテ置カヌケレバ不都合デアラウ、此本條デ列舉シタル人モ相當ノ理由アル場合ニ秘密ヲ漏スト云フコトハ是ハ餘儀ナイ次第アル、ソレデ其趣意ヲ明ニスル爲ニ矢張り「故ナク」ト云フコトヲ加ヘタ方ガ適當アル、斯ウ云フ詮議カラ本條ニ「故ナク」ト云フ字ヲ加ヘタノデアリマス、其次ハ百二十三條但書ノ削除デゴザイマスルガ、此但書ヲ削除サレマシタル理由ハ既ニ此名譽ニ對スル罪、即チ一般ノ誹毀罪ト云フモノハ「告訴ヲ待ツテ之ヲ論ス」即チ被害者ノ申告ヲ待ツト云フコトニナツテ居ル、シテ見レバ公務員ニ對シテ誹毀ヲ致シタル場合デモ原案ノ如ク特別ナ請求ナドト云フ手續ヲ認メナクテモ、其害ヲ受ケタ本人カラ普通ノ手續ニ依ッテ告訴スル方ガ適當アル、斯ノ如ク「上司ノ請求」ナドト云フ手續ヲ認メル必要ハ無イ、斯ウ云フ理由デ但書ヲ削除セラレタコトデアリマス、先ヅ衆議院ノ修正ハ是マデ申述ベタ箇條デケデゴザイマスルガ、其他先刻申述ベマシタル九十六條削除ノ結果トシテ、前ニ申述ベマシタル箇條ノ二條、三條、四條ノ外各條ニ差響キヲ起シマシテ條數ノ相違ヲ來タシテ居リマスガ、是ハ全ク九十六條削除ノ結果ニ外ナラヌノデゴザイマス、大略……

○村田保君 衆議院ノ修正ニ付キマシテ本委員會ハ全部反對ト云フ決議ヲシタイト存ジマス、ドウゾ御賛成ヲ願ヒマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○委員長(侯爵黒田長成君) 村田君ノ說ニ就イテ決ヲ採リマス、村田君ノ說ニ御同意ノ諸君ハ御手ヲ御舉ゲテ願ヒマス

總員舉手

○委員長(侯爵黒田長成君) 全會一致ト認メマス、今日ハ是デ散會イタシマス
午前十一時五十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵黒田 長成君

委員

子爵酒井 忠亮君	名村 泰藏君	村田 保君
小松原英太郎君	波多野敬直君	奥山 政敬君
一木喜徳郎君	兒玉淳一郎君	
國務大臣		
司法大臣 松田 正久君		
政府委員		
司法次官 河村讓三郎君	檢事 倉富勇三郎君	
司法省民刑局長 平沼騏一郎君	司法省參事官 谷野 格君	